

平成12年度事業報告書

I 事業の状況

1 概要

本年度は新会長の下、活性化委員会の答申に基づき、理事会および各委員会が一丸となって学会の基盤強化のための諸活動を推進した。会誌の隔月発行、全国大会・研究会の開催、ホームページ・メーリングリストの運用等の従来からの活動に加えて、本年度より若手の集いやサマースクール等の新しい活動を展開し、会員サービスの充実に努力するとともに、非会員を含めたサービスとしてセミナー等を開催した。

この一年間の会員数の推移は微減であった。長引く不況で企業の正会員の減少が止まらないものの、学生会員の増加傾向が続いているため、全国大会や研究会等で研究発表の増加が見られた。

隔月発行される「人工知能学会誌」は、2000年1月号からのA4版化に続き、2001年1月号からは論文が分離され、ホットなテーマの解説論文が増やされるなど、内容が一新された。なお、論文は国立情報学研究所の提供するオンラインジャーナル提供システムの最初のユーザーとして、採録決定後直ちに広く一般の閲覧に供されるよう改革された。

第14回全国大会は7月4日から4日間にわたり早稲田大学国際会議場で開催された。プログラムは、特別講演、AIレクチャー、パネル討論、研究会セッション、近未来チャレンジ、一般発表で構成され、バラエティに富んだ内容であった。また、これまで低調であった研究者間の交流を活性化するため、レセプションが2回企画され、盛況であった。

8研究会は、それぞれの研究会活動の他に、他学会の研究会との合同研究会や“AIシンポジウム”を開催するなど活発な活動を行った。とりわけ、AIシンポジウムは従来年1回の行事であったが、本年度はホットなテーマを選んで4回開催され、いずれも盛況であった。

人工知能セミナーは「デジタル多チャンネル時代のバーチャルコンテンツとAI技術」をテーマに早稲田大学で開催され、企業からの参加者が多く盛況であった。

活性化委員会の答申に基づき、新しい研究の芽を育む場としての学会を再認識してもらい、講師/参加者双方にとって知的刺激となる場を提供することを狙ってAI若手の集いとサマースクールが企画・実施された。二つとも参加者を制限するほど盛況で、学会活性化策の新しい行事として定着した。

国際研究交流活動の一環として、本年度も、ロボカップ日本委員会ほかと協力してロボカップ・ジャパンオープンを共催した。また、2001年度全国大会で5つの国際ワークショップを併設することおよび2002年8月にPRICAI2002を東京で主催することを決定し、準備を開始した。その他、海外における人工知能関連シンポジウム、ワークショップ開催の協賛などの協調・連携活動も活発に行った。

2 会員現況(2001年3月31日)

	本年度末 (平成13年3月31日)	前年度末 (平成12年3月31日)	増減数
正会員	2,944名	2,953名	9減
学生会員	512名	507名	5増
名誉会員	6名	6名	0
賛助会員	57社	60社	3減
特殊購読会員	100団体	100団体	0

3 会誌・論文誌の発行

会誌の発行(発行部数:4,250)

第15巻 第3号(通巻81号)2000年5月1日発行

特集「AIの観点から見た電子商取引の将来像」解説4編と座談会記録,単編解説2編「人工物工学と人工知能」および「ことば工学」と座談会記録,連続解説「AI技術の産業応用(第8回)」,一般論文6編,ショートノート1編,他

第15巻 第4号(通巻82号)2000年7月1日発行

小特集「マルチリンガル情報アクセス」の解説3編,単編解説1編「ペイジアンネットワーク」,連続解説「AI技術の産業応用(第9回)」,論文特集「発見科学」の解説1編と論文10編,一般論文3編,他

第15巻 第5号(通巻83号)2000年9月1日発行

特集「共通データによる知識発見手法の比較と評価」の解説6編,単編解説「ロボカップレスキュープロジェクト」とその座談会記録,連続解説「AI技術の産業応用(第10回)」,AIマップ「言語理解 SHRDLUの先にあるもの」,一般論文11編,他

第15巻 第6号(通巻84号)2000年11月1日発行

特集「人工市場」の解説5編と座談会記録,博士論文特集「人工知能分野における新しい研究の流れ」の論文概略,単編解説1編,連続解説「AI技術の産業応用(第11回)」,AIマップ「言語理解 SHRDLUの先にあるもの」のコメントと回答,一般論文9編,ショートノート1編,他

第16巻 第1号(通巻85号)2001年1月1日発行 (オンラインジャーナル開始)

特集「ナレッジマネジメントとその支援技術」の解説5編と事例5編,特集「考証:2001年宇宙の旅」の解説6編,単編解説1編「宇宙における最近のAI技術」,レクチャーシリーズ「認知科学」[第1回],近未来チャレンジ特集の論文2編とショートノート2編,論文アブストラクト18件,他

第16巻 第2号(通巻86号)2001年3月1日発行

特集「テキストマイニング」の解説2編と事例4編,特集「21世紀のAIのための数理モデル」の解説4編とパネル討論記録,アーティクル2編,レクチャーシリーズ「認知科学」[第2回],論文特集「情報論的学習理論(IBIS2000)」の総説論文1編と招待論文2編,論文アブストラクト16件,他

論文誌の発行(2001年1月1日より会誌から分離して発行)

オンラインジャーナルを随時発行(採録決定後直ちに掲載)

・Vol. 16・1(アブストラクトを会誌第16巻 第1号に掲載)

・Vol. 16・2(アブストラクトを会誌第16巻 第2号に掲載)

4 全国大会(第14回)の開催

- ・日 時:2000年7月4日(火)~7日(金)
- ・場 所:早稲田大学・国際会議場(東京・西早稲田)
- ・大会委員会,実行委員会,プログラム委員会

大会委員長 石黒 辰雄(日本電気)

実行委員長 管村 昇(NTT)

プログラム委員長 中島 秀之(電総研)

- ・プログラム構成:

特別講演

「The Age of Digital Creatures」

土井 利忠(ソニー)

「創ってわかる生物学」

四方 哲也(阪大)

「宇宙 人工知能実用化の舞台」

中須賀 真一(東大)

「知識・市場と多主体複雑系 経済学と科学哲学の接点から」

塩沢 由典(大阪市大)

AI レクチャー

「コンピュータビジョンの過去・現在・未来」

松山 隆司(京大)

「インテリジェントエージェントからインテリジェントコンテンツへ:単純

系に基づくグローバルな知の創造」 長尾 確（日本IBM）
「インタラクションの理解とデザイン」 西田 豊明（東大）
パネルディスカッション
「認知と身体性」
コーディネータ/司会：浅田 稔（阪大）
パネラー：佐々木 正人（東大），中島 秀之（ETL），茂木 健一郎（ソニー）
「21世紀のAIのための数理モデル：総括と展望」
コーディネータ/司会：藤本 和則（NTT）
パネラー：山本 裕（京大），鷲尾 隆（阪大），松嶋 敏泰（早大）
繁栞 算男（東大）
「シミュレーションと現実：AIの新たな課題を求めて」
コーディネータ/司会：寺野 隆雄（筑波大）
パネラー：高玉 圭樹（ATR），井口 守（NEC），竹村 真一（東北芸大），
亀田 達也（北大），木本 昌秀（東大）
「近未来チャレンジから生まれる情報社会：情報が風になる社会を目指して」
コーディネータ/司会：西田 豊明氏（東大）
パネラー：下原 勝憲（NTT），水越 伸（東大），神田 智子（博報堂）
畦地 真太郎（北海道東海大）
特別セッション「インターネット教育環境を支えるAI技術」
「音声対話研究の新たな展開を考える」，「情報統合における学習と検索」，
「KBS/FAI合同」，「ポストゲノム時代のAI技術」
近未来チャレンジ
「サバイバル・オブ・チャレンジ：POC，DSIU，ICカード，その他」
一般応募講演：200件（口頭発表 178件，デジタルポスタ発表 22件）
参加者 588名（会員 505名，非会員 83名）

5 研究会の開催

第1種研究会

人工知能基礎論研究会（略称 SIG-FAI）

- ・第41回
期日：2000年7月13日（木）～15日（土） 場所：高知グリーン会館
テーマ：小特集「発見科学」他，研究発表27件，参加者58名
- ・第42回
期日：2000年9月22日（金） 場所：公立はこだて未来大学
テーマ：小特集「身体性」他，発表7件，招待講演2件，参加者18名
- ・第43回
期日：2000年11月9日（木）～10日（金） 場所：筑波大学大塚校舎
テーマ：小特集「予兆・チャンスの発見と利用」他，
発表16件，パネル討論1件，参加者51名
- ・第44回
期日：2001年3月8日（木）～9日（金） 場所：北陸先端科学技術大学
テーマ：小特集「使えるAI基礎技術」他，
発表12件，招待講演2件，参加者54名

知識ベースシステム研究会（略称 SIG-KBS）

- ・第48回
期日：2000年6月29日（木） 場所：東京工業大学長津田校舎
テーマ：小特集「エージェント技術：基礎と応用」他，
発表6件，招待講演1件，参加者31名
- ・第49回
期日：2000年9月28日（木）～29日（金） 場所：津和野町町民センター
テーマ：小特集「データマイニング：共通データからの知識発見」他，

発表 13 件, 招待講演 1 件, パネル討論 1 件, 参加者 55 名

・第 50 回

期 日: 2000 年 11 月 17 日 (金) 場所: 和歌山大学システム工学部
テーマ: 小特集「オントロジー活用の実際」他, 発表 12 件, 参加者 30 名

・第 51 回

期 日: 2001 年 1 月 11 日 (木) ~ 12 日 (金) 場所: 慶応大学矢上校舎
テーマ: 小特集「デジタルエンタープライズ」他,
発表 17 件, 招待講演 3 件, パネル討論 1 件, 参加者 19 名

言語・音声理解と対話処理研究会 (略称 SIG-SLUD)

・第 29 回

期 日: 2000 年 6 月 16 日 (金) 場所: ATR 知能映像通信研究所
テーマ: 一般演題, 発表 5 件, 参加者 35 名

・第 30 回

期 日: 2000 年 11 月 9 日 (木) ~ 10 日 (金) 場所: 熱川ハイツ
テーマ: 特集「社会的なインタラクション研究の新展開」他,
発表 13 件, 招待講演 1 件, 参加者 56 名

・第 31 回

期 日: 2001 年 3 月 2 日 (金) 場所: 早稲田大学理工学部
テーマ: 特集「コーパスを利用した談話・対話研究」他
発表 8 件, 招待講演 1 件, 参加者 43 名

知的教育システム研究会 (略称 SIG-IES)

・第 29 回 (電子情報通信学会教育工学研究会と共催)

期 日: 2000 年 5 月 19 日 (金) 場所: 機械振興会館
テーマ: 特集「教材の設計・開発・共有」他,
発表 15 件, 招待講演 1 件, 参加者 77 名

・第 30 回

期 日: 2000 年 9 月 22 日 (金) 場所: 徳島大学工業会館
テーマ: 特集「CSCL の開発環境と実践・コンテンツ」他,
発表 6 件, 参加者 20 名

・第 31 回

期 日: 2001 年 3 月 16 日 (金) ~ 17 日 (土) 場所: 奈良市春日野荘
テーマ: 特集「知能メディア」他,
発表 6 件, 招待講演 1 件, パネル討論 2 件, 参加者 75 名

第 2 種研究会

AI チャレンジ研究会 (略称 SIG-Challenge)

・第 10 回

期 日: 2000 年 6 月 23 日 (金) 場所: 公立はこだて未来大学
テーマ: RoboCup Japan Open
発表 10 件, 参加者 60 名

・第 11 回

期 日: 2001 年 3 月 12 日 (月) 場所: 一ツ橋記念講堂
テーマ: 一般演題
発表 10 件, 参加者 25 名

情報統合研究会 (略称 SIG-CII)

・第 13 回

期 日: 2000 年 7 月 11 日 (火) 場所: 新情報処理開発機構東京本部
テーマ: 「実世界における時間と空間の情報統合」
発表 6 件, 招待講演 3 件, 参加者 24 名

・第 14 回

期 日: 2000 年 11 月 14 日 (火) ~ 15 日 (水) 場所: 龍谷大学・瀬田
テーマ: 「マルチメディア情報の解析と統合」
発表 20 件, 招待講演 3 件, パネル討論 1 件, 参加者 46 名

- ・第15回
期日：2001年3月26日(月) 場所：新情報処理開発機構東京本部
テーマ：「ロボットと情報統合」
発表6件，招待講演2件，パネル討論1件，参加者16名
- 分子生物情報研究会(略称 SIG-MBI)
- ・第11回
期日：2000年5月26日(金) 場所：東大医科学研究所
テーマ：一般，発表5件，招待講演1件，参加者50名
- ・第12回
期日：2000年7月15日(土) 場所：慶応大学・湘南藤沢
テーマ：一般，発表9件，参加者50名
- ・第13回
期日：2000年9月14日(木) 場所：大阪大学・豊中
テーマ：一般，発表5件，招待講演2件，参加者50名
- ・第14回
期日：2001年1月12日(金) 場所：理研GSC(横浜市鶴見)
テーマ：一般，招待講演6件，参加者87名
- ・第15回
期日：2001年3月14日(水)～15日(木) 場所：北陸先端大学院大学
テーマ：一般，発表9件，招待講演2件，参加者60名
- ことば工学研究会(略称 SIG-LSE)
- ・第5回
期日：2000年7月21日(金)～22日(土) 場所：同志社大学今出川校舎
テーマ：ことばにおける身体性と感性」
発表6件，招待講演1件，参加者27名
- ・第6回
期日：2000年12月8日(金)～9日(土) 場所：大阪国際会議場
テーマ：ことばとコミュニケーション
発表7件，招待講演5件，パネル討論1件，参加者42名
- ・第7回
期日：2001年3月1日(木)～2日(金) 場所：多摩美大
テーマ：ことばのデザイン
発表8件，招待講演6件，パネル討論1件，参加者41名

6 シンポジウム/ワークショップの開催

ロボカップ・ジャパン・オープン 2000

期日：2000年6月23日(金)～25日(日) 場所：公立はこだて未来大学
共催：NPO ロボカップ日本委員会，人工知能学会ほか
構成：シュミレーション，実機小型リーグ，実機中型リーグ
参加者：(12チーム) (7チーム) (5チーム) 観衆 700名

第11回 AI シンポジウム(略称 SIG-J)

テーマ：ポストゲノム時代に向けた細胞シミュレーション
期日：2000年11月13日(月) 場所：アーク森ビル36 F
構成：招待講演3件，講演発表26件，参加者34名

第12回 AI シンポジウム(略称 SIG-J)

テーマ：ことばとコミュニケーション
期日：2000年12月8日(金)～9日(土) 場所：大阪国際会議場
構成：研究発表14件，招待講演10件，パネル討論1件，参加者31名

第13回 AI シンポジウム(略称 SIG-J)

テーマ：ナレッジマネジメント技術
期日：2000年12月15日(金)～16日(土) 場所：石川ハイテクセンター
構成：研究発表14件，招待講演10件，パネル討論1件，参加者64名

第14回 AI シンポジウム (略称 SIG-J)

テーマ：データマイニングはこう活かせ！

期 日：2001年3月21日(水)～22日(木) 場所：早稲田大学国際会議場

構 成：招待講演11件，パネル討論2件，参加者108名

第18回設計シンポジウム

期 日：2000年7月3日(月)～4日(火) 場所：東京工業大学百年記念館

共 催：人工知能学会(幹事)，精密工学会，日本機械学会，日本設計工学会

構 成：特別講演1件，一般講演18件，参加者73名

7 セミナーほか

第40回人工知能セミナー

テーマ：デジタル多チャンネル時代のバーチャルコンテンツとAI技術

期 日：2000年11月8日(水) 場所：早稲田大学 国際会議場

プログラム：

- ・「テライユキ：バーチャルアイドルとエンターテイメント」
永田 豊志(株)フロッグインターテイメント)
- ・「スポーツ中継とバーチャル広告～仮想現実はどこまで許されるか」
曾根 俊郎(NHK 放送文化研究所)
- ・「群集表現技術と映像制作への応用」
三好 雅則(株)日立製作所)
- ・「文字からつくるマルチメディア：データ放送をターゲットにしたデジタルコンテンツ再利用システムLive Text」
山本 強(北海道大学)
- ・パネルディスカッション 曾根 俊郎，三好 雅則，山本 強，小中 千昭

参加申込：42名

第1回 AI 若手の集い (MYCOM2000)

期 日：2000年5月15日(月)～16日(火)

場所：KKR 熱海

目 的：若手研究者の横通しと議論の沸き起こるコミュニティーの醸成

構 成：Long Session(40分)6件，Short Session(15分)8件，招待講演1件

参加者：25名

サマースクール

テーマ：サイバー社会と未来型コミュニケーション

期 日：2000年7月17日(月)～19日(水)

場所：トークイン琵琶湖

構 成：下記話題提供者6名による講演と討論

- ・西田豊明(東大)：「インタラクションの理解とデザイン」
- ・浅田 稔(阪大)：「ロボット，身体性，そして死」
- ・寺野隆雄(筑波大)：「計算組織理論：エージェントで社会をみる」
- ・國藤 進(北陸先端大)：「気付きを支援するコミュニケーション技術」
- ・石田 亨(京大)：「デジタルシティと異文化コミュニケーション」
- ・下原勝憲(ATR)：「コミュニケーション創発機構(人工情動)」

参加者：46名

8 2000年度の表彰

功績賞(第15回全国大会で表彰の予定：2001年5月24日)

功績賞規程および功績賞候補選定細則に基づき，正会員による候補の推薦および功績賞選定委員会(委員長：石黒辰雄副会長)の審査を経て，下記の両氏に功績賞を贈呈。

功績賞受賞者：田中 英彦(東京大学)

功績賞受賞者：白井 克彦(早稲田大学)

功労賞(第15回全国大会で表彰の予定：2001年5月24日)

功労賞規程および功労賞候補選定細則に基づき，正会員による候補の推薦および功労賞選定委員会(石黒辰雄委員長)の審査を経て，下記の両氏に功績賞を贈呈。

功労賞受賞者：川田 圭一(NTT-AT(株))

功労賞受賞者：山崎 正人（四日市大学）

2000 年度学会論文賞（第 15 回全国大会で表彰の予定：2001 年 5 月 24 日）

論文賞規程および論文賞候補選定細則に基づき、会誌第 15 巻第 1 号～第 15 巻第 6 号に発表された論文（ショートノート、技術資料を含む）68 編を対象に、正会員による候補の推薦および論文賞選定委員会（委員長：石塚満理事）の審査を経て、下記の 2 編の著者に論文賞を贈呈。

- ・「テキストデータからの高速データマイニング 探索的文書ブラウジングとウェブデータへの応用」 安部 潤一郎，藤野 亮一，下園 真一，有村 博紀，有川 節夫
- ・「スケールタイプ制約に基づく科学的法則式の発見」 鷲尾 隆，元田 浩

研究奨励賞（第 15 回全国大会で表彰の予定：2001 年 5 月 24 日）

研究奨励賞規程、同選定細則に基づき、2000 年度の研究会で発表された論文を対象に、選定委員会（下原勝憲委員長）による審査を経て、下記の 7 編の著者に研究奨励賞を贈呈。

- ・「Support Vector Machineを用いた布尔関数の学習」 佐土原 健
 - ・「オンラインショッピング用インタフェース向上のための実購買行動の分析」 庄司 裕子，堀 浩一
 - ・「Webコミュニティにおける構造の発見」 村田 剛志
 - ・「言語コーパスにおける感情生起要因と感情クラスの注釈づけ」 徳久 良子，乾 健太郎，徳久 雅人，岡田 直之
 - ・「利用者間で鑑賞情報を共有できる適応型仮想美術館の構築」 野口 達毅，尾崎 圭司，矢野 米雄
 - ・「顔認識とアクティブオーディションを利用した実時間人物追跡」 中臺 一博，日台 健一，溝口 博，奥乃 博，北野 宏明
 - ・「連想属性における感性語の特徴と定量的記述」 安藤 まや，岡本 潤，石崎 俊
- 全国大会（第 14 回）優秀論文賞・ベストプレゼンテーション賞
（第 15 回全国大会で表彰の予定：2001 年 5 月 24 日）
全国大会表彰規程および全国大会表彰選定細則に基づき、全国大会開催期間 2000 年

7

月 4 日から 7 日までに発表された口頭発表 178 件、デジタルポスタ 22 件、近未来チャレンジ 20 件を対象に大会参加者に候補の推薦をお願いし、2000 年度全国大会表彰選定委員会（中島秀之委員長）により慎重かつ厳正に審議した結果、以下の論文 5 件の著者に優秀論文賞を贈呈。

(1) 優秀論文賞

- ・「ゲノム整列問題への段階的節点展開方式の適用」 吉住 貴幸，三浦 輝久，石田 亨
- ・「情報検索における語の特徴量と頻度に関する考察」 相澤 彰子
- ・「報酬獲得効率を最大化する政策の強化学習」 山口 智浩，石村 健二
- ・「参照の共起性に基づく Web コミュニティの発見」 村田 剛志
- ・「パブリック・オピニオン・チャンネルにおける少数者影響」 松村 憲一

(2) ベストプレゼンテーション賞

該当なし

9 共催，協賛，後援などの催し物（2000 年度承認分と会誌掲載分）

以下のように理事会承認 53 件及び会誌掲載 75 件により、他学会などと協調して学会活動の活性化および多様化を推進した。

理事会承認 53 件（共催 2 件，協賛 50 件，後援 1 件）

< 共催 > 2 件

- (01) 「情報学シンポジウム」日本学会会議（13.1.18-19）
- (02) 「計測連合シンポジウム 先端計測 2001」日本学会会議（13.5.16-17）

< 協賛 > 50 件

- (01) 「感性工学 2000 (第 4 回感性工学シンポジウム)」日本学術会議ほか (12.5.26)
- (02) 「第 4 回ロボットグランプリ」日本機械学会 (12.11.4 ~ 5)
- (03) 「スケジューリング・シンポジウム 2000」スケジューリング学会 (12.10.13-14)
- (04) 「SICE セミナー：制御のためのシステム同定」計測自動制御学会 (12.9.18-19)
- (05) 「2000 年計測・制御・情報化技術・そしてこれから」計測自動制御学会 (12.10.4-5)
- (06) 「VSMM 国際会議 2000 岐阜」実行委員会 (12.10.4-6)
- (07) 「講演会：高度情報化ともの創り革命」日本機械学会 (13.1.17-19)
- (08) 「INTERACT2001」情報処理学会，ヒューマンインタフェース学会 (13.7.9-13)
- (09) 「ケイタイ・カーナビの利用性と人間工学」日本人間工学会 (13.2.21-22)
- (10) 「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装技術」溶接学会 (13.2.1-2)
- (11) 「これからのインターネットビジネスのコア技術」システム制御情報学会 (12.11.16)
- (12) 「第 2 回日本感性工学会総会講演会」日本感性工学会 (12.9.14-15)
- (13) 「S I 部門設立記念シンポジウム」計測自動制御学会 (12.9.11)
- (14) 「実践的な制御理論—制御系設計とデジタル制御」計測自動制御学会 (12.10.3-4)
- (15) 「医療・福祉とロボティクス，センシング技術」センシング技術研究会 (12.10.26)
- (16) 「安全を支え，新機能を創出するバイオメトリクス」日本機械学会 (12.10.26-27)
- (17) 「ROBODEX2000 (ロボデックス)」実行委員会 (12.11.24-26)
- (18) 「シンセシスのモデル論国際シンポジウム」日本学術振興会 (12.12.11-12)
- (19) 「第 13 回自律分散システムシンポジウム」計測自動制御学会 (13.1.26-27)
- (20) 「VR とロボメカ技術による次世代テレコミュニケーション」日本機械学会 (12.11.29)
- (21) 「2001 年度並列処理シンポジウム」情報処理学会，電子情報通信学会 (13.6.5-8)
- (22) 「システムインテグレーション部門学術講演会」計測自動制御学会 (12.12.21-22)
- (23) 「並列生物情報処理イニシアティブ・シンポジウム」実行委員会 (12.12.1)
- (24) 「知識情報処理への統計力学的アプローチ」科研費基盤 (C)委員会 (12.12.19-21)
- (25) 「国際シンポジウム Info-Tech 2000」関西情報センター (12.11.15-16)
- (26) 「International Symposium on Measurement, Analysis and Modeling of Human Functions (ISHF2001)」IMEKO/SICE/IEEE (13.9.21-23)
- (27) 「第 5 回 SGML/XML 研修フォーラム」情報知識学会 (12.10.25-26)
- (28) 「ウェアラブルコンピュータとその周辺」システム制御情報学会 (13.1.23-24)
- (29) 「The 2nd Asia-Pacific Conference on Intelligent Agent Technology」
(13.10.23-26)
- (30) 「The First Asia-Pacific Conference on Web Intelligence」(13.1.23-26)
- (31) 「第 2 回複合現実感国際シンポジウム」バーチャルリアリティ学会 (13.3.14-15)
- (32) 「第 19 回日本ロボット学会学術講演会」日本ロボット学会 (13.9.18-20)
- (33) 「3 次元画像コンファレンス 2001」実行委員会 (13.7.4-5)
- (34) 「第 20 回シミュレーション・テクノロジー・コンファレンス」日本シミュレーション学会 (13.6.20 ~ 21)
- (35) 「第 16 回日本生体磁気学会大会」日本生体磁気学会 (13.6.1-2)
- (36) 「Dynamics and Design Conference 2001」日本機械学会 (13.8.6-9)
- (37) 「第 17 回バイオメカニズム・シンポジウム」実行委員会 (13.7.23-25)
- (38) 「第 16 回生体・生理工学シンポジウム」計測自動制御学会 (13.8.29-31)
- (39) 「第 7 回「運動と振動の制御」シンポジウム」日本機械学会 (13.4.25-27)
- (40) 「第 28 回知能システムシンポジウム」計測自動制御学会 (13.3.28-29)
- (41) 「ロボティクス・メカトロニクス講演会 2001」日本機械学会 (13.6.8-10)
- (42) 「第 4 回情報論的学習理論ワークショップ」電子情報通信学会 (13.7.30-13.8.1)
- (43) 「RWC 最終成果展示発表会 2001」新情報処理開発機構 (13.10.3-5)
- (44) 「2001 ワールド・シンポジウム北九州」同実行委員会 (13.7.24-27)
- (45) 「SICE セミナー：ロバスト制御入門」計測自動制御学会 (13.5.31-6.1)
- (46) 「第 22 回バイオメカニズム学術講演会」バイオメカニズム学会 (13.11.23-24)
- (47) 「第 11 回インテリジェント・システム・シンポジウム」計測自動制御学会
(13.9.24-25)
- (48) 「カラーマネージメントシステム用測色技術の基礎と応用」計測自動制御学会 (13.6.8)
- (49) 「制御の 20 世紀 / 21 世紀の展望」システム制御情報学会 (13.6.11-12)
- (50) 「ヒューマンインタフェースシンポジウム 2001」ヒューマンインタフェース学会 (13.10.2-4)

<後援> 1件

(01)「心を持ち始めたロボット」(株)けいはんな (12.11.19)

会誌掲載：催し物 59件 (共催2件, 協賛55件, 後援2件)

<共催> 2件

(01)「計測連合シンポジウム 先端計測 2000」日本学会会議 (12.12.17-18)

(02)「情報学シンポジウム」日本学会会議 (13.1.18-19)

<協賛> 55件

(01)「システム同定の最前線」システム制御情報学会 (12.6.5-6)

(02)「システム技術のための組込みシステム技術」計測自動制御学会 (12.6.9)

(03)「第19回シミュレーション・テクノロジー・コンファレンス」
日本シミュレーション学会 (12.6.21-22)

(04)「知能化, ネットワーク化が進む工作機械の現状と将来展望」精密工学会 (12.6.29)

(05)「International Meeting of the Psychometric Society」Psychometric Society
(13.7.15-19)

(06)「第3回情報論的学習理論ワークショップ」IEEE Japan (12.7.17-18)

(07)「Dynamics and Design Conference 2000」日本機械学会 (12.9.5-8)

(08)「第16回ファジィシステムシンポジウム」日本ファジィ学会 (12.9.6-8)

(09)「ヒューマンインタフェースシンポジウム」I F学会 (12.9.20-22)

(10)「Digital Ware Osaka 2000」日本能率協会 (12.9.20-22)

(11)「最適化シンポジウム 2000」日本機械学会 (12.10.6-7)

(12)「第15回生体・生理工学シンポジウム」計測自動制御学会 (12.10.13-15)

(13)「知能ロボットとシステムに関する国際会議」日本ロボット学会他 (12.10.30-11.5)

(14)「第43回自動制御連合講演会」システム制御情報学会 (12.11.16-17)

(15)「第21回バイオメカニズム学術講演会」バイオメカニズム学会 (12.11.24-25)

(16)「Discovery Science 2000」文部省科研費「発見科学」グループ (12.12.4-6)

(17)「SICE セミナー：制御のためのシステム同定」計測自動制御学会 (12.9.18-19)

(18)「2000年計測・制御・情報化技術・そしてこれから」計測自動制御学会
(12.10.4-5)

(19)「VSMM 国際会議 2000 岐阜」実行委員会 (12.10.4-6)

(20)「スケジュールリング・シンポジウム 2000」スケジュールリング学会 (12.10.13-14)

(21)「第4回ロボットグランプリ」日本機械学会 (12.11.4-5)

(22)「第2回日本感性工学会総会講演会」日本感性工学会 (12.9.14-15)

(23)「これからのインターネットビジネスのコア技術」システム制御情報学会 (12.11.16)

(24)「講演会：高度情報化ともの創り革命」日本機械学会 (13.1.17-19)

(25)「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装技術」溶接学会 (13.2.1-2)

(26)「ケイタイ・カーナビの利用性と人間工学」日本人間工学会 (13.2.21-22)

(27)「INTERACT2001」情報処理学会, ヒューマンインタフェース学会 (13.7.9-13)

(28)「国際シンポジウム Info-Tech 2000」関西情報センター (12.11.15-16)

(29)「ROBODEX2000 (ロボデックス)」実行委員会 (12.11.24-26)

(30)「VRとロボメカ技術による次世代テレコミュニケーション」日本機械学会 (12.11.29)

(31)「並列生物情報処理イニシアティブ・シンポジウム」実行委員会 (12.12.1)

(32)「シンセシスのモデル論国際シンポジウム」日本学術振興会 (12.12.11-12)

(33)「知識情報処理への統計力学的アプローチ」科研費基盤(C)委員会 (12.12.19-21)

(34)「システムインテグレーション部門学術講演会」計測自動制御学会 (12.12.21-22)

(35)「ウェアラブルコンピュータとその周辺」システム制御情報学会 (13.1.23-24)

(36)「第13回自律分散システムシンポジウム」計測自動制御学会 (13.1.26-27)

(37)「2001年度並列処理シンポジウム」情報処理学会, 電子情報通信学会 (13.6.5-8)

(38)「International Symposium on Measurement, Analysis and Modeling of Human
Functions (ISHF2001)」IMEKO/SICE/IEEE (13.9.21-23)

(39)「第2回複合現実感国際シンポジウム」バーチャルリアリティ学会 (13.3.14-15)

- (40) 「第 19 回日本ロボット学会学術講演会」日本ロボット学会 (13.9.18-20)
- (41) 「The 2nd Asia-Pacific Conference on Intelligent Agent Technology」
(13.10.23-26)
- (42) 「The First Asia-Pacific Conference on Web Intelligence」(13.1.23-26)
- (43) 「第 28 回知能システムシンポジウム」計測自動制御学会 (13.3.28-29)
- (44) 「第 7 回「運動と振動の制御」シンポジウム」日本機械学会 (13.4.25-27)
- (45) 「SICE セミナー：ロバスト制御入門」計測自動制御学会 (13.5.31-6.1)
- (46) 「ロボティクス・メカトロニクス講演会 2001」日本機械学会 (13.6.8-10)
- (47) 「第 16 回日本生体磁気学会大会」日本生体磁気学会 (13.6.1-2)
- (48) 「第 20 回シミュレーション・テクノロジー・コンファレンス」日本シミュレーション学会 (13.6.20 ~ 21)
- (49) 「3次元画像コンファレンス 2001」実行委員会 (13.7.4-5)
- (50) 「第 17 回バイオメカニズム・シンポジウム」実行委員会 (13.7.23-25)
- (51) 「第 19 回設計シンポジウム」日本機械学会 (13.7.17-18)
- (52) 「第 4 回情報論的学習理論ワークショップ」電子情報通信学会 (13.7.30-13.8.1)
- (53) 「第 16 回生体・生理工学シンポジウム」計測自動制御学会 (13.8.29-31)
- (54) 「RWC 最終成果展示発表会 2001」新情報処理開発機構 (13.10.3-5)
- (55) 「2001 ワールド・シンポジウム北九州」同実行委員会 (13.7.24-27)

<後援> 2件

- (01) 「インターアカデミーパネル 2000 年会議及び第 8 回アジア学術会議」日本学術会議
(12.5.13 ~ 18)
- (02) 「心を持ち始めたロボット」(株)けいはんな (12.11.19)

会誌掲載：教官募集 16 件

- (01) 教官募集：福井大学<知能システム工学科>
募集人数：教授または助教授 3 名 (応募締切：12.6.30)
- (02) 教官募集：福岡工業大学<情報システム工学科>
募集人数：助教授または講師 1 名 (応募締切：12.10.1)
- (03) 教官募集：大阪工業大学<情報科学部>
募集人数：教授または助教授 1 名 (応募締切：12.7.8)
- (04) 教官募集：北陸先端科学技術大学院大学<情報科学研究科>
募集人数：助教授 1 名 (応募締切：12.8.31)
- (05) 教官募集：近畿大学<経営工学科>
募集人数：助教授 1 名 (応募締切：12.9.30)
- (06) 教官募集：東京工業大学<知能システム科学専攻>
募集人数：教授 2 ~ 3 名，助教授または講師 2 ~ 3 名 (応募締切：12.10.31)
- (07) 教官募集：福井大学<知能システム工学科>
募集人数：教授または助教授 3 名 (応募締切：13.3.31)
- (08) 教官募集：文京大学<情報システム学科>
募集人数：1 名 (応募締切：12.11.27)
- (09) 教官募集：大阪市立大学<電子情報系専攻>
募集人数：教授 1 名 (応募締切：13.1.31)
- (10) 教官募集：筑波大学<機能工学系>
募集人数：講師 2 名 (応募締切：13.1.31)
- (11) 教官募集：筑波大学社会人大学院<計算機科学>
募集人数：教授または助教授 1 名 (応募締切：13.2.28)
- (12) 教官募集：北海道大学<電子情報工学専攻>
募集人数：助教授 1 名 (募集締切：13.1.31)
- (13) 教官募集：広島市立大学<知能情報システム工学科>
募集人数：助教授 1 名 (応募締切：13.3.31)
- (14) 教官募集：お茶の水大学<情報科学科>
募集人数：助教授 1 名 (応募締切：13.3.31)

- (15) 教官募集：九州工業大学＜生物化学システム工学科＞
募集人数：助教授 1 名（応募締切：13.5.31）
- (16) 教官募集：筑波大学＜電子・情報工学系＞
募集人数：講師 1 名（応募締切：13.3.31）

10 会議

2000 年度第 15 回通常総会

2000 年 5 月 26 日（金）に早稲田大学国際会議場で開催した。定款変更後のはじめの総会で、この総会より、総会の構成員は役員 22 名と評議員 78 名の合計 100 名。このうち、出席者は 69 名（委任状を含む）。1999 年度事業報告・決算報告・監事報告、個人会員の除名処分、2000 年度事業計画・予算、2000 年度役員・評議員構成などの議案審議、決裁を行った。

理事会

6 月、1 月を除く各月に計 10 回開催した。

委員会

時限委員会である活性化委員会、業績賞選定委員会は、その責務を遂行し解散した。本年度は、功績賞・功労賞選定委員会と PRICAI2002 実行委員会が新たに設立され、活動を開始した。

一方、下記委員会は、それぞれ随時開催された。

会誌編集委員会、研究会運営委員会、研究集会審議委員会、企画委員会、全国大会委員会/同実行委員会/同プログラム委員会、広報委員会、財務委員会、総務委員会

11 規程などの制定・改正・廃止，契約締結，覚書交換および登記など

下記の通り規程などの制定・改訂・廃止，共同提言，覚書の締結が行われた。

- ・会員からの発議による研究集会等開催に関する細則 / 2000 年 7 月 4 日 改訂
- ・IT 戦略会議への提言 / 2000 年 8 月 22 日 提言
- ・国立情報学研究所オンラインジャーナル提供システムに関する覚書と同運用に係る申合せ / 2000 年 12 月 28 日 締結
- ・社団法人 人工知能学会・新役員登記 / 2000 年 7 月 24 日 登記

(社)人工知能学会2000年度決算報告書

(2000年4月1日から2001年3月31日)

貸借対照表

(2001年3月31日現在)

(単位：円)

1) 資産の部

科 目	金 額
1. 流動資産	70,881,759
(1) 現金預金	
現金	152,127
預貯金	42,651,352
定期預金	16,268,032
(2) 未収金	8,983,248
(3) 前払金	50,000
(4) 担保金	777,000
(5) 貸出金	2,000,000
2. 固定資産	39,564,584
(1) 定期預金	35,000,000
(2) 入居保証金	4,344,000
(3) 電話架設料	220,584
資 産 合 計	110,446,343

2) 負債の部

科 目	金 額
1. 流動負債	11,465,009
(1) 前受金	9,162,000
(2) 未払金	1,743,683
(3) 預り金	306,326
(4) 仮受金	253,000
2. 固定負債	45,260,257
(1) 国際会議積立金	14,523,158
(2) 退職金引当金	2,294,833
(3) 会費未納分除却引当金	2,890,750
(4) 事務所整備積立金	1,406,940
(5) 記念事業引当金	2,017,864
(6) 名簿発行準備金	806,525
(7) 活性化積立金	7,312,745
(8) 国際活動積立金	10,007,123
(9) 普及啓蒙活動積立金	4,000,319
負 債 合 計	56,725,266

3) 正味財産の部

科 目	金 額
1. 基本財産	35,000,000
2. 剰余金	18,721,077
正 味 財 産 合 計	53,721,077

4) 合計

負債および正味財産合計	110,446,343
-------------	-------------

財 産 目 録
(2001年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	金 額
(資産の部)	
1. 流動資産	70,881,759
(1) 現金預金	59,071,511
1) 現金	
現金手持有り高	152,127
2) 普通預金	0
第一勧業銀行飯田橋支店 (会長口座)	4,169,633 0
郵便貯金 (会長口座)	421,469 0
東京三菱銀行神楽坂支店 (会長口座)	1,714,519 0
第一勧業銀行飯田橋支店 (事務局長口座)	909,866 0
東京三菱銀行神楽坂支店 (会長口座)	10,007,123 0
東京三菱銀行神楽坂支店 (会長口座)	4,000,319 0
東京三菱銀行神楽坂支店 (会長口座)	860,010 0
東京三菱銀行神楽坂支店 (会長口座)	1,203,872 0
東京三菱銀行神楽坂支店 (会長口座)	806,525 0
東京三菱銀行神楽坂支店 (会長口座)	2,294,833 0
東京三菱銀行神楽坂支店 (会長口座)	1,505,101 0
東京三菱銀行神楽坂支店 (会長口座)	7,312,745 0
東京三菱銀行神楽坂支店 (会長口座)	1,001,697 0
3) 振替貯金 東京振替貯金局	6,443,640
4) 定期預金	
東京三菱銀行神楽坂支店	1,000,000
東京三菱銀行神楽坂支店	12,018,057
東京三菱銀行神楽坂支店	2,030,740
東京三菱銀行神楽坂支店	203,068
東京三菱銀行神楽坂支店	1,016,167
(2) 未収金	8,983,248
1) '00入会金	49,000
2) '00会費	3,565,000
3) '00会誌別刷り	4,240,500
4) '00会誌印税	132,860
5) '00会誌広告料	480,250
6) '00研究会登録料	272,000
7) '00研究会別刷資料	87,000
8) '00セミナー参加費	3,000
9) '00J A I S T 許諾料	3,780
10) '00N A C S I データ料	41,758
11) '00会誌等の頒布代	42,500
12) '00全国大会参加費	13,000
13) '00A I シンポジウム参加費	52,600
(3) 前払金	50,000
1) 全国大会	50,000
(4) 担保金	777,000
1) 郵便物受取人払い担保金	777,000
(5) 貸出金	2,000,000
1) 全国大会運営費	2,000,000
2. 固定資産	39,564,584
(1) 定期預金	35,000,000
(2) 入居保証金	4,344,000
(3) 電話架設料	220,584
資 産 合 計	110,446,343

科 目	金 額
(負債の部)	
1. 流動負債	11,465,009
(1) 前受金	9,162,000
1) 2001年度入会金	23,000
2) 2001年度会費	8,116,000
3) 研究会登録料	1,008,000
4) 全国大会	15,000
(2) 未払金	1,743,683
1) 会誌別刷り印刷・諸経費	355,162
2) 研究会開催費	496,020
3) 法定福利費	306,462
4) 臨時雇用費	218,266
5) 通信費他	367,773
(3) 預り金	306,326
(4) 仮受金	253,000
2. 固定負債	45,260,257
1) 国際会議積立金	14,523,158
2) 退職金引当金	2,294,833
3) 会費未納分除却引当金	2,890,750
4) 事務所整備積立金	1,406,940
5) 記念事業引当金	2,017,864
6) 名簿発行準備金	806,525
7) 活性化積立金	7,312,745
8) 国際活動積立金	10,007,123
9) 普及啓蒙活動積立金	4,000,319
負 債 合 計	56,725,266
正 味 財 産	53,721,077
合 計	110,446,343

[1] 2000年度収支決算書

(2000年4月1日から2001年3月31日まで)

1) 収入

(単位：円)

	予算額	実算額	差引額
基本財産利息収入	56,000	45,623	10,377
入会金収入	238,000	365,000	127,000
正会員入会金	158,000	272,000	114,000
学生会員入会金	80,000	93,000	13,000
会費収入	43,135,000	43,628,000	493,000
正会員会費	29,400,000	29,440,000	40,000
学生会員会費	2,200,000	2,048,000	152,000
賛助会員会費	10,080,000	10,640,000	560,000
特殊購読会員会費	1,455,000	1,500,000	45,000
事業収入	32,264,000	32,962,076	698,076
会誌別刷料	16,310,000	17,577,000	1,267,000
会誌印税	771,000	797,160	26,160
全国大会収入	8,460,000	7,281,000	1,179,000
セミナー参加費	1,130,000	736,100	393,900
会誌など頒布代	600,000	960,000	360,000
研究会登録料、他	3,483,000	3,322,490	160,510
AIシンポジウム・サマースクール参加費他	910,000	1,608,833	698,833
その他	600,000	679,493	79,493
準備金取崩し	3,250,000	2,474,471	775,529
活性化積立金	2,250,000	1,471,229	778,771
普及啓蒙活動積立金	1,000,000	1,003,242	3,242
雑収入	1,822,000	2,174,331	352,331
会誌広告料	1,500,000	1,730,750	230,750
会誌掲載料	135,000	185,750	50,750
郵送料他	15,000	10,500	4,500
受取利息	32,000	47,829	15,829
コピーライト	140,000	183,289	43,289
その他	0	16,213	16,213
当期収入合計	80,765,000	81,649,501	884,501
前期繰越収支差額	13,879,978	13,879,978	
収入合計	94,644,978	95,529,479	884,501

2) 支出

科目	予算額	実算額	差引額
事業費	43,142,000	38,864,722	4,277,278
会誌印刷費	17,400,000	15,854,666	1,545,334
会誌別刷印刷費	1,957,000	2,074,549	117,549
ｽﾀｲﾙ・ﾌｧｲﾙ作成費	300,000	441,000	141,000
会誌執筆謝礼	258,000	291,000	33,000
会誌郵送費等発行諸経費	5,236,000	4,387,800	848,200
全国大会開催費	8,460,000	7,700,409	759,591
セミナー開催費	1,094,000	688,420	405,580
研究会開催費	3,433,000	2,915,878	517,122
AIｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ・ｶｰｽｸｰﾙ開催費	1,391,000	1,868,717	477,717
広報活動費	73,000	15,000	58,000
表彰費	250,000	112,812	137,188
共催負担金	40,000	40,000	0
国際会議支援	0	0	0
活性化活動費	2,250,000	1,471,229	778,771
普及啓蒙活動費	1,000,000	1,003,242	3,242
管理費	34,329,000	34,739,419	410,419
家賃	2,352,000	2,369,850	17,850
共益費	369,000	368,928	72
光熱費	245,000	249,640	4,640
リース料・保守・修理費	1,494,000	1,529,354	35,354
什器備品費	100,000	97,461	2,539
会議費	400,000	326,029	73,971
旅費交通費	150,000	98,820	51,180
通信・郵送費	2,750,000	3,111,703	361,703
印刷費	585,000	670,214	85,214
消耗品費	833,000	434,934	398,066
給料・手当	18,200,000	18,553,237	353,237
臨時雇用費	3,700,000	3,382,080	317,920
法定福利費	1,900,000	2,068,863	168,863
資料購入費	150,000	120,926	29,074
研修費	100,000	71,030	28,970
諸会費	183,000	179,700	3,300
保険料	0	0	0
OA維持費	300,000	364,150	64,150
福利厚生費	45,000	43,190	1,810
会費引落経費	140,000	398,736	258,736
外為手数料	5,000	3,500	1,500
支払い手数料	50,000	47,490	2,510
雑費	120,000	92,084	27,916
公認会計士費用	158,000	157,500	500
その他支出	2,700,000	1,992,690	707,310
会費未納分除却損	2,700,000	1,992,690	707,310
積立金繰り入れ支出	1,175,000	1,211,571	36,571
国際会議積立金	0	13,178	13,178
退職金引当金	1,175,000	1,175,813	813
会費未納除却分引当金	0	2,683	2,683
事務所整備積立金	0	1,110	1,110
記念事業準備金	0	1,774	1,774
名簿発行準備金	0	608	608
活性化積立金	0	5,721	5,721
国際活動積立金	0	7,123	7,123
普及啓蒙活動積立金	0	3,561	3,561
予備費	0	0	0
当期支出合計	81,346,000	76,808,402	4,537,598
次期繰越収支差額	13,298,978	18,721,077	5,422,099
支出合計	94,644,978	95,529,479	884,501

注: 当期収支差額は + 4,841,099 である。

〔 2 〕 正味財産増減計算の部

(2000年4月1日 ~ 2001年3月31日)

1) 増加の部 (単位 : 円)

科 目	実算額
当期収支差額	4,841,099
当期増減差額	
増加額合計	4,841,099

2) 減少の部

科 目	実算額
当期収支差額	
当期増減差額	0
減少額合計	0

3) 合計の部

科 目	実算額
当期正味財産増加額	4,841,099
前期繰越正味財産額	48,879,978
期末正味財産合計額	53,721,077

平成13年度事業計画書

1 運営・活動方針

定款の目的に沿って、会誌の隔月発行・論文のオンラインジャーナル掲載、2001年度全国大会（第15回）、研究会、AIシンポジウム、セミナー、ワークショップ、若手の集い、サマースクールなどの研究活動の推進、業績賞・学会論文賞・研究奨励賞・全国大会優秀論文賞・ベストプレゼンテーション賞などの表彰、ならびに他学会および海外関連団体との協調による学会活動の活性化や多様化を推進するとともに、引き続き組織基盤の強化・拡充に努めて会員サービスの充実を図る。

会誌は、2001年1月号より論文が分離されてページ数に若干ゆとりができたため、解説記事の増強や特定テーマについての寄書の掲載などで内容が一新された。引き続き本年度も魅力ある会誌作りを目指して編集方針の見直しを行う。論文誌はオンラインジャーナルを随時発行すると同時に、12月に1年分の論文のハードコピーを1冊にまとめて発行する。

全国大会は学会創立以来の悲願であった地方開催と国際化を同時に実現するよう準備を進めている。会場は島根県民会館を使用し、5日間の会期の内、最初の2日間は国際ワークショップに、残りの3日間は従来の大会に割り当てた。

研究会活動は、今年度も8研究会で通常の研究会活動を行うほか、他学会の研究会との共同研究会を開催する。また、昨年からは始まり盛況であったホットなテーマをタイムリーに選んで実施するAIシンポジウムは本年度3回開催する。

学会の活性化活動の一環として昨年度実施した若手の集いとサマースクールは今年度も継続して開催する。と同時に、参加者同士が議論する場を多くする方向で、若手の集いをサマースクールに融合してゆくことを検討する。

人工知能セミナーは、ホットなテーマを選定し2回開催する。

本年度は時限委員会である活性化委員会を結成して、2002年度以降の学会運営に関する基本方針を検討し答申する。

2 会誌・論文誌の発行

会誌の発行

第16巻 第3号（通巻87号）2001年5月1日発行

特集「家庭内ネットワークと情報家電」の解説4編、特集「エンターテインメントとAI」の解説5編、単編解説「Semantic Web - 機械のためのWeb -」、AIマップ「自然言語処理の基本問題への挑戦」、アーティクル「日本が遅れているのか、それともアメリカが間違っているのか」、レクチャーシリーズ「認知科学」〔第3回〕、論文アブストラクト6件、他。

第16巻 第4号（通巻88号）2001年7月1日発行

特集「マルチエージェント技術における新しい可能性」の解説4編、特集「Webシステムにおける情報獲得支援技術」の解説2編、事例4編、提言1編、AIマップ「自然言語処理の基本問題への挑戦」のコメントと回答、AIマップ「人間支援のためのバウンダリーレスなAI研究に向けて」、アーティクル2編、レクチャーシリーズ「認知科学」〔第4回〕、論文アブストラクト、他。

第16巻 第5号（通巻89号）2001年9月1日発行

特集「プランニング技術の進展と新たな応用展開」の解説5編、特集「定理証明、推論関係の新技术」の解説7編、単編解説2件「スピングラス理論と知識処理」、「エージェントと自然言語処理研究」、AIマップ「ニューロナルな視点からの挑戦」、AIマップ「人間支援のためのバウンダリーレスなAI研究に向けて」のコメントと回答、レクチャーシリーズ「認知科学」〔第5回〕、論文アブストラクト、他。

第16巻 第6号（通巻90号）2001年11月1日発行

特集「モバイル・ウェアラブルコンピュータ」、特集「社会的相互行為」の解説5編、

AIマップ「ニューロナルな視点からの挑戦」のコメントと回答，レクチャーシリーズ「認知科学」〔第6回〕，博士論文特集，論文アブストラクト，他．

第17巻 第1号（通巻91号）2002年1月1日発行

特集「類似性に基づく推論」，単編解説「Large Margine Classifiers」，レクチャーシリーズ「認知科学」〔第7回〕，論文特集「設計知識の管理と高度利用」，論文アブストラクト，他．

第17巻 第2号（通巻92号）2002年3月1日発行

特集「実世界知能」，単編解説「」，レクチャーシリーズ「オントロジー」〔第1回〕，論文アブストラクト，他．

論文誌の発行

オンラインジャーナルを随時発行（採録決定後直ちに掲載）

- ・ Vol. 16 - 3 - xx（アブストラクトを会誌第16巻 第3号に掲載）
- ・ Vol. 16 - 4 - xx（アブストラクトを会誌第16巻 第4号に掲載）
- ・ Vol. 16 - 5 - xx（アブストラクトを会誌第16巻 第5号に掲載）
- ・ Vol. 16 - 6 - xx（アブストラクトを会誌第16巻 第6号に掲載）
- ・ Vol. 17 - 1 - xx（アブストラクトを会誌第17巻 第1号に掲載）
- ・ Vol. 17 - 2 - xx（アブストラクトを会誌第17巻 第2号に掲載）

ハードコピー版（保存版合本）

12月に Vol. 16 - 1 から Vol. 16 - 6 までの1年分の論文のハードコピーを1冊にまとめて発行する．

3 全国大会（第15回）の開催

- ・ 日 時：2001年5月23日（水）～25日（金）
- ・ 場 所：島根県民会館（松江市殿町158）
- ・ 構 成：

特別講演：

- 「計算組織理論」 Dr. Kathleen M. Carley（カーネギーメロン大）
- 「ヒト知性の計算神経科学」 川人 光男氏（ATR）

AIレクチャー：

- 「量子コンピュータの理論と実現」 西野 哲朗氏（電通大）
- 「計算機による言語の理解」 黒橋 禎夫氏（東京大）
- 「インターネット情報資源に対するデータマイニング」 河野 浩之氏（京都大）

研究会セッション

- ・ 人工知能基礎論研究会：
「分子コンピュータプロジェクトの研究成果」
- ・ 知識ベースシステム研究会：パネル討論
「Discovery of Communicable Knowledge」
- ・ 言語・音声理解と対話処理研究会：
「実世界におけるコミュニケーション研究の現在」
- ・ 知的教育システム研究会：パネル討論
「e-LearningとKnowledge Management」
- ・ AIチャレンジ研究会
- ・ 情報統合研究会：パネル討論
「情報統合の現状と将来 -RWCプロジェクトでどこまで到達したか」
- ・ 分子生物研究会：パネル討論
「計算機はタンパク質の本質にどこまで迫れるか」
- ・ ことば工学研究会

一般発表申込件数 220件

4 国際会議・国際ワークショップの開催

国際ワークショップ (JSAI 2001 International Workshops)

- ・主催：人工知能学会
- ・日時：2001年5月21日(月)～22日(火)
- ・場所：島根県民会館
- ・構成：
 - (1) Social intelligence Design
Organizer: Prof. Toyoaki Nishida (The University of Tokyo)
 - (2) Agent-based Approaches in Economic and Social Complex Systems
Organizer: Prof. Akira Namatame (National Defense Academy)
 - (3) Rough Set Theory and Granular Computing
Organizer: Prof. Shusaku Tsumoto (Shimane Medical University)
 - (4) Chance Discovery
Organizer: Prof. Yukio Ohsawa (University of Tsukuba)
 - (5) JSAI KDD Challenge 2001 (JKDD01)
Organizer: Prof. Takashi Washio (Osaka University)
- ・参加者：100名(海外10名,国内90名)以上の見込み

第7回環太平洋人工知能国際会議 (PRICAI2002)

- ・主催：人工知能学会
- ・日時：2002年8月18日(日)～22日(木)
- ・場所：学術総合センター(予定)
- ・構成：一般セッション,ポスターセッション,招待講演,デモ,ワークショップ
- ・参加者：250名(海外100名,国内150名)以上の予定

5 研究会の開催

第1種研究会

人工知能基礎論研究会(略称 SIG-FAI)

- 第45回 07月 東京 小特集「予兆・チャンス発見の応用」,招待講演
- 第46回 09月 東京 小特集「20世紀の人工知能を振り返って」,招待講演
- 第47回 11月 函館 小特集「アクティブマイニング」
(当会KBS研究会と共催)
- 第48回 03月 北陸 小特集「エージェント」,招待講演

知識ベースシステム研究会(略称 SIG-KBS)

- 第52回 07月 大分 小特集「Human-Agent Interaction」及び一般演題
- 第53回 09月 名古屋 小特集「インテリジェントWeb」及び一般演題
- 第54回 11月 函館 小特集「アクティブマイニング」及び一般演題
(当会FAI研究会と共催)
- 第55回 01月 東京 小特集「エンタープライズモデリング」
(電子情報通信学会KBSE研究会と共催)

言語・音声理解と対話処理研究会(略称 SIG-SLUD)

- 第32回 06月 関西 一般演題
- 第33回 11月 宿泊 ワークショップ形式
- 第34回 03月 東京 コーパス利用WG報告会

知的教育システム研究会(略称 SIG-IES)

- 第32回 05月 東京 テーマ「先端メディアの教育利用と教材データ」

(電子情報通信学会教育工学研究会と共催)

- | | | | |
|-------|-----|-----|------------------------------|
| 第33回 | 09月 | 九州 | テーマ「教育における知識マネジメント」 |
| 第34回 | 03月 | 箱根 | テーマ「Learning Technologyの新展開」 |
| ・若手の会 | 12月 | 名古屋 | テーマ「未定」 |

第2種研究会

AI チャレンジ研究会 (略称 SIG-Challenge)

- | | | | |
|------|-----|--------|-------------------------|
| 第12回 | 04月 | 福工大 | テーマ「RoboCup Japan Open」 |
| 第13回 | 06月 | 早大 | テーマ「ロボット聴覚・音環境理解」 |
| 第14回 | 10月 | 有明 TFT | テーマ「ICES2001」 |

情報統合研究会 (略称 SIG-CII)

- | | | | |
|------|-----|-----|----------------------|
| 第16回 | 06月 | RWC | テーマ「リアルワールドにおける情報統合」 |
| 第17回 | 11月 | 産総研 | テーマ「ジェスチャ認識における情報統合」 |
| 第18回 | 03月 | 産総研 | テーマ「音楽情報処理における情報統合」 |

分子生物情報研究会 (略称 SIG-MBI)

- | | | | |
|------|-----|------------------|--|
| 第16回 | 05月 | 東工大 | |
| 第17回 | 07月 | 生命情報科学研 | |
| 第18回 | 11月 | 弘前大 | |
| 第19回 | 01月 | 東大医学研 | |
| 第20回 | 03月 | 北陸先端大 (or 奈良先端大) | |

ことば工学研究会 (略称 SIG-LSE)

- | | | | |
|------|-----|----|---------|
| 第08回 | 07月 | 関西 | テーマ「未定」 |
| 第09回 | 11月 | 東京 | テーマ「未定」 |
| 第10回 | 03月 | 東京 | テーマ「未定」 |

6 シンポジウム・ワークショップの開催

ロボカップジャパンオープン 2001

- | | |
|-----|---|
| 期 日 | 2001年4月28日(土)～30日(月) |
| 場 所 | 福岡工業大学 |
| 主 催 | NPO ロボカップ日本委員会, 日本経済新聞社, 日本ロボット学会, 人工知能学会 |
| 構 成 | 2001年8月上旬にシアトルで開催される第5回ロボカップ世界大会に向けて, 日本からの参加チームの競技会及び関連する研究論文発表会 (SIG-Challenge) |

20周年記念第19回設計シンポジウム

- | | |
|-----|------------------------------------|
| 期 日 | 2001年7月17日(月)～18日(火) |
| 場 所 | 東京工業大学百年記念館 |
| 共 催 | 日本機械学会(幹事), 精密工学会, 日本設計工学会, 人工知能学会 |
| 構 成 | 特別講演, 一般講演, 他 |

AI シンポジウム (略称 SIG-J)

- | | | | |
|------|-----|----|----------------------------------|
| 第15回 | 07月 | 東京 | テーマ「リアルワールドにおける情報統合」 |
| 第16回 | 11月 | 東京 | テーマ「e-Learningのintelligent化に向けて」 |
| 第17回 | 03月 | 東京 | テーマ「データマイニング(第二弾)」 |

7 セミナーなどの開催

第 41 回人工知能セミナー

- ・テーマ：どのようにして我々は意志を伝達しているのか？
- ・期 日：2001 年 11 月 12 日（月） 10 時 30 分～ 16 時 30 分
- ・場 所：早稲田大学 国際会議場 第 3 会議室
- ・プログラム：
 - ・「(仮題) 幼児はどのように言葉を獲得してゆくか」 今井 むつみ (慶大)
 - ・「(仮題) ロボットは言葉を獲得できるか？」 岩橋 直人 (ソニー)
 - ・「(仮題) 心がわかるとはどういうことか？」 子安 増生 (京大)
 - ・「(仮題) 自閉症と心の理論」 山本 淳一 (筑波大)

第 42 回人工知能セミナー

- ・テーマ：バイオインフォマティックスの世界
- ・期 日：未定
- ・場 所：未定
- ・プログラム：未定

第 2 回 AI 若手の集い MYCOM2001

- 期 日：2001 年 5 月 21 日（月）～ 22 日（火）
- 場 所：松江ニューアーバンホテル本館
- 講 師：中島秀之（産総研）：演題「AI と複雑系と東洋的世界観」

サマースクール

- 期 日：2001 年 7 月 19 日（木）～ 21 日（土）
- 場 所：未定
- テーマ：未定
- 対 象：学生および企業・研究機関等に所属する若手研究者

8 2001 年度の表彰

学会規程に基づき 2001 年度は以下の賞を贈呈する。

- 業績賞
- 学会論文賞
- 研究奨励賞
- 全国大会優秀論文賞・ベストプレゼンテーション賞

9 共催，協賛，後援など

昨年度に引き続き，他学会との協調により学会活動の活性化，多様化を推進する。

10 会議

2001 年度第 16 回通常総会
5 月 24 日（木）島根県民会館

理事会

8 月，1 月を除く各月に計 10 回開催

委員会

会誌編集委員会，研究会運営委員会，研究集会審議委員会，企画委員会，全国大会
大会委員会/同実行委員会/同プログラム委員会，広報委員会，財務委員会，総務委員
会，活性化委員会，業績賞選定委員会をそれぞれ随時開催

11 規程など制定・改正・廃止，契約締結，覚書交換および認可など

- ・情報関連学会間の著作権に関する協定書の締結（2001/06）
- ・社団法人 人工知能学会・新役員登記（2001/06）

12 2001 年度役員構成（案）

別紙参照

13 2001 年度評議員構成（案）

別紙参照

2 0 0 1 年 度 予 算 書

(2001年4月1日から2002年3月31日まで)

1) 収入の部

科 目		予算額	前年度予算	対前年度差異	備 考
基本財産利息収入		35,000	56,000	-21,000	
入金	正会員入会金	240,000	158,000	82,000	120名(@2,000)
	学生会員入会金	80,000	80,000	0	80名(@1,000)
	小計	320,000	238,000	82,000	
会費収入	正会員会費	29,400,000	29,400,000	0	2,940名(@10,000)
	学生会員会費	2,000,000	2,200,000	-200,000	500名(@4,000)
	賛助会員会費	10,000,000	10,080,000	-80,000	125口(@80,000)
	特殊購読会員会費	1,500,000	1,455,000	45,000	100団体(@15,000)
小計	42,900,000	43,135,000	-235,000		
事業収入	会誌別刷料	15,500,000	16,310,000	-810,000	
	会誌印税	798,000	771,000	27,000	
	全国大会収入	5,284,000	8,460,000	-3,176,000	
	全国大会(国際WS)	600,000	0	600,000	
	セミナー参加費	1,184,000	1,130,000	54,000	
	会誌など頒布代	650,000	600,000	50,000	
	研究会登録料、他	3,250,000	4,393,000	-1,143,000	
	AIシンポジウム・サマースクール参加費他	2,265,000	0	2,265,000	
その他	600,000	600,000	0		
小計	30,131,000	32,264,000	-2,133,000		
補助金収入	文部省補助金(会誌)	0	0	0	
	自治体補助金(全国大会)	2,575,000	0	2,575,000	
	小計	2,575,000	0	2,575,000	
準備金取崩し	国際会議積立金	2,000,000	0	2,000,000	
	活性化積立金	1,661,000	2,250,000	-589,000	
	普及啓蒙活動積立金	0	1,000,000	-1,000,000	
	小計	3,661,000	3,250,000	411,000	
雑収入	会誌広告料	931,000	1,500,000	-569,000	
	会誌掲載料	120,000	135,000	-15,000	
	郵送料他	11,000	15,000	-4,000	
	受取利息	32,000	32,000	0	
	コピーライト	180,000	140,000	40,000	
	その他	0	0	0	
小計	1,274,000	1,822,000	-548,000		
当期収入合計		80,896,000	80,765,000	131,000	
前期繰越収支差額		18,721,077	13,879,978	4,841,099	
収入合計		99,617,077	94,644,978	4,972,099	

2) 支出の部

科 目	予算額	前年度予算額	対前年度差異	備 考	
事業費	会誌印刷費	15,103,000	17,400,000	-2,297,000	
	会誌別刷印刷費	1,500,000	1,957,000	-457,000	
	スタイル・ファイル作成費	500,000	300,000	200,000	
	会誌執筆謝礼	194,000	258,000	-64,000	
	会誌郵送費等発行諸経費	5,296,000	5,236,000	60,000	
	全国大会開催費	6,659,000	8,460,000	-1,801,000	
	全国大会(国際WS開催費)	1,800,000	0	1,800,000	
	セミナー開催費	1,184,000	1,094,000	90,000	
	研究会、他開催費	3,245,000	4,824,000	-1,579,000	
	AIシンポジウム・サマースクール開催費	2,265,000	0	2,265,000	
	広報活動費	60,000	73,000	-13,000	
	表彰費	250,000	250,000	0	
	共催負担金	0	40,000	-40,000	
	活性化活動費	1,661,000	2,250,000	-589,000	
	普及啓蒙活動費	0	1,000,000	-1,000,000	
小計	39,717,000	43,142,000	-3,425,000		
管理費	家賃	2,306,000	2,352,000	-46,000	
	共益費	369,000	369,000	0	
	光熱費	250,000	245,000	5,000	
	リース料・保守・修理費	1,300,000	1,494,000	-194,000	
	什器備品費	100,000	100,000	0	
	会議費	400,000	400,000	0	
	旅費交通費	150,000	150,000	0	
	通信・郵送費	3,230,000	2,750,000	480,000	
	印刷費	600,000	585,000	15,000	
	消耗品費	650,000	833,000	-183,000	
	給料・手当	19,000,000	18,200,000	800,000	
	臨時雇用費	2,850,000	3,700,000	-850,000	
	法定福利費	2,100,000	1,900,000	200,000	
	資料購入費	150,000	150,000	0	
	研修費	250,000	100,000	150,000	
	諸会費	183,000	183,000	0	
	保険料	10,000	0	10,000	
	OA維持費	350,000	300,000	50,000	
	福利厚生費	60,000	45,000	15,000	
	会費引落経費	350,000	140,000	210,000	
	外為手数料	0	5,000	-5,000	
	支払い手数料	50,000	50,000	0	
	雑費	130,000	120,000	10,000	
雑損失	0	0	0		
公認会計士費用	158,000	158,000	0		
小計	34,996,000	34,329,000	667,000		
会費未納分除却損	2,200,000	2,700,000	-500,000		
小計	2,200,000	2,700,000	-500,000		
国際会議貸付金	2,000,000	0	0		
小計	2,000,000	0	0		
積立金線入	国際会議積立金	0	0	0	
	退職金引当金	578,000	1,175,000	-597,000	
	会費未納除却分引当金	0	0	0	
	事務所整備積立金	0	0	0	
	記念事業準備金	0	0	0	
	名簿発行準備金	0	0	0	
	活性化積立金	0	0	0	
	国際活動積立金	0	0	0	
	普及啓蒙活動積立金	0	0	0	
	小計	578,000	1,175,000	-597,000	
予備費	0	0	0		
当期支出合計	79,491,000	81,346,000	-1,855,000		
次期繰越収支差額	20,126,077	13,298,978	6,827,099		
支出合計	99,617,077	94,644,978	4,972,099		

2001年度役員構成

役職名	種別	氏名	所属
会長	留任	白井 良明	大阪大学大学院 工学研究科
副会長	留任	田中 穂積	東京工業大学大学院 情報理工学研究科
副会長	新任	中津 良平	(株)ATR知能映像通信研究所
理事	留任	麻生 英樹	産業技術総合研究所 情報処理研究部門
理事	新任	石川 泰	三菱電機(株) 情報技術総合研究所
理事	留任	石塚 満	東京大学工学部 電子情報工学科
理事	留任	上田 和紀	早稲田大学理工学部 情報学科
理事	留任	大河内 正明	日本アイ・ピー・エム(株) 東京基礎研究所
理事	留任	岡田 直之	九州工業大学情報工学部 知能情報工学科
理事	新任	岸 則政	日産自動車(株)総合研究所 電子情報研究所
理事	新任	小長谷 明彦	北陸先端科学技術大学院大学 知識科学研究科
理事	新任	島津 秀雄	日本電気(株) 情報通信メディア研究本部
理事	留任	末田 直道	(株)東芝 研究開発センター
理事	留任	長坂 篤	沖電気工業(株) 研究開発本部
理事	新任	新田 克己	東京工業大学大学院 総合理工学研究科
理事	留任	萩田 紀博	NTT(株) コミュニケーション科学基礎研究所
理事	新任	前田 章	(株)日立製作所 システム開発研究所
理事	新任	松原 仁	公立はこだて未来大学 システム情報科学部
理事	新任	松本 裕治	奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科
理事	新任	丸山 文宏	(株)富士通研究所 コンピュータシステム研究所
監事	留任	山本 昌弘	法政大学 国際文化学部
監事	新任	加藤 守利	東京電力(株) システム研究所

(理事は五十音順, 敬称略)

2001年度評議員構成

相場 亮	新任	芝浦工業大学 システム工学部
秋藤 俊介	再任	(株)日立製作所 システム開発研究所 第二部
秋吉 政徳	留任	三菱電機(株) 先端技術総合研究所 システム基礎研究所
阿曾 弘具	留任	東北大学大学院 工学研究科電気・通信工学専攻
阿部 圭一	留任	静岡大学 情報学部 情報科学科
有田 隆也	新任	名古屋大学大学院 人間情報学研究科
石崎 俊	留任	慶應義塾大学 環境情報学部
石原 孝一郎	留任	拓殖大学 工学部情報工学科
磯崎 秀樹	留任	NTT(株) コミュニケーション科学基礎研究所
市川 熹	留任	千葉大学大学院 自然科学研究科
市山 俊治	新任	日本電気(株) 情報通信メディア研究本部
伊藤 秀昭	留任	中京大学 情報科学部 情報科学科
伊東 幸宏	新任	静岡大学 情報学部 情報科学科
浦本 直彦	新任	日本アイ・ピー・エム(株)東京基礎研究所
遠藤 勉	新任	九州工業大学 情報工学部 知能情報工学科
大貝 晴俊	留任	新日本製鐵(株) 技術開発本部 設備技術開発センター
大沢 英一	新任	公立はこだて未来大学 情報システム科学部
大田 友一	留任	筑波大学 電子情報工学系
大宅 伊久雄	留任	沖電気工業(株) ネットワークシステムカンパニー
岡 夏樹	留任	松下技研(株) 岡研究室
岡本 明	留任	(株)リコー 研究開発本部
岡本 敏雄	新任	電気通信大学大学院 情報システム学研究科
小川 均	留任	立命館大学 理工学部情報学科
嘉数 侑昇	留任	北海道大学大学院 工学研究科
加藤 恒昭	留任	東京大学大学院総合文化研究科 言語情報科学専攻
木下 哲男	留任	東北大学 電気通信研究所
久野 義徳	再任	埼玉大学 工学部 情報システム工学科
樽松 明	留任	電気通信大学 電気通信学部 電子工学科
小島 昌一	留任	(株)東芝 研究開発センター システム技術ラボラトリー
小林 哲則	留任	早稲田大学 理工学部 電気電子情報工学科
佐藤 健	新任	国立情報学研究所
佐藤 雅彦	新任	京都大学大学院 工学研究科 知能情報学専攻
榎木 哲夫	新任	京都大学 工学部 精密工学科
島津 明	留任	北陸先端科学技術大学院大学 情報科学研究科
白井 康之	新任	(株)三菱総合研究所 情報通信研究部
新谷 虎松	留任	名古屋工業大学 知能情報システム学科
管村 昇	新任	NTT(株) コミュニケーション科学基礎研究所
杉村 利明	新任	(株)NTTドコモ 研究開発本部
杉村 領一	再任	松下電器産業(株) マルチメディア開発センター
諏訪 基	留任	産業技術総合研究所
高橋 理一	留任	(株)豊田中央研究所
竹内 章	留任	九州工業大学 情報工学部 知能情報工学科
武田 英明	留任	国立情報学研究所
田村 浩一郎	留任	中京大学 情報科学部
塚本 昌彦	留任	大阪大学大学院 工学研究科 情報システム工学専攻
辻 秀一	新任	東海大学 工学部 電子工学科
辻 洋	留任	(株)日立製作所 コンシューマネットビジネス推進本部
東条 敏	新任	北陸先端科学技術大学院大学 情報科学研究科

徳田 恵一	留任	名古屋工業大学 知能情報システム学科
富井 規雄	留任	(財)鉄道総合技術研究所 池田(宏)研究室
富田 勝	新任	慶応義塾大学 環境情報学部
富山 哲男	留任	東京大学大学院 人工物工学研究センター 知能科学研究部門
中川 裕志	留任	東京大学 情報基盤センター・図書館電子化研究部門
中小路 久美代	留任	奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 認知科学講座
中田 純一	留任	日本ユニシス(株) ソリューションシステム部
中山 康子	新任	(株)東芝研究開発センター
錦見 美貴子	留任	産業技術総合研究所
西田 正吾	再任	大阪大学大学院 基礎工学研究科
沼尾 正行	新任	東京工業大学大学院 情報理工学研究科
橋本 和夫	留任	(株)KDD研究所 知識情報処理グループ
長谷川 隆三	新任	九州大学大学院 システム情報科学研究科
服部 文夫	新任	NTTソフトウェア(株) 技術開発部
馬場口 登	留任	大阪大学 産業科学研究所 知能システム科学研究部門
林 朗	留任	広島市立大学 情報科学部 情報機械システム工学科
坂内 広蔵	新任	(財)電力中央研究所 情報研究所
堀 聡	留任	三菱電機(株) 生産技術センター
堀 雅洋	留任	日本アイ・ピー・エム(株) 東京基礎研究所
松嶋 敏泰	留任	早稲田大学 理工学部 工業経営学科
松本 俊二	新任	富士通(株) 計算科学技術センター
松山 隆司	留任	京都大学大学院 情報学研究科 知能情報学専攻
溝口 文雄	留任	東京理科大学 理工学部 経営工学科
宮崎 収兄	新任	千葉工業大学 情報工学科
三輪 和久	新任	名古屋大学大学院 人間情報学研究科
森 辰則	新任	横浜国立大学 工学部 電子情報工学科
山之内 徹	留任	日本電気(株) C&Cメディア研究所
山村 雅幸	留任	東京工業大学 総合理工学研究科
山本 誠一	留任	(株)エイ・テイ・アール 音声言語通信研究所
山本 秀樹	新任	沖電気工業(株) 研究開発本部
横田 将生	再任	福岡工業大学 情報工学部 言語情報工学研究所
横矢 直和	新任	奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科
吉岡 健	新任	富士ゼロックス(株) 中央研究所知識研究室
吉田 裕之	新任	富士通(株) 企画本部

(五十音順, 敬称略)

内 訳 (括弧内は昨年度)

留任	48名	大学関係:	49名(48名)
新任	30名	国立機関:	3名(3名)
再任	4名	企業関係:	30名(32名)
		合計:	82名(83名)